

■第1章■

Q1-1 解答・解説

(解答例)

契約によって継続的な関係が担保されている商品と、契約は存在しないが継続的な関係が担保されている商品があります。

たとえば、契約によって継続的な関係が担保されている商品としては、英会話スクール、運動をするためのジムなどがあります。高校、専門学校、大学といった教育機関なども当てはまるかもしれません。

契約が存在しない商品についても考えてみましょう。定期的に通っている歯医者、年間パスなどを保有している最良のプロスポーツチームや水族館などの娯楽施設などがあげられます。

Q1-2 解答・解説

$3,000 \text{ 円} \times 36 \text{ ヶ月 (3年間)} = 108,000 \text{ 円}$

この問題は収益だけを計算していますので、比較的簡単に計算可能です。サブスクビジネスの1回あたりの入金額は、その商品を販売した場合（売り切り）の収益よりも大幅に少なくなります。しかし、顧客とつながり続けることによって、長期的にみると、販売した場合の収益よりも高い収益が期待できます。

さらに、将来の期間の収益が予想できることは、サブスクビジネスの大きなメリットです。この練習問題の場合では、3年間に渡って年間に36,000円、合計で108,000円の収益が生じることが予想可能です。

Q1-3 解答・解説

$(3,000 \text{ 円} - 3,000 \text{ 円} \times 40\%) \times 36 \text{ ヶ月} - 18,000 \text{ 円} = 46,800 \text{ 円}$

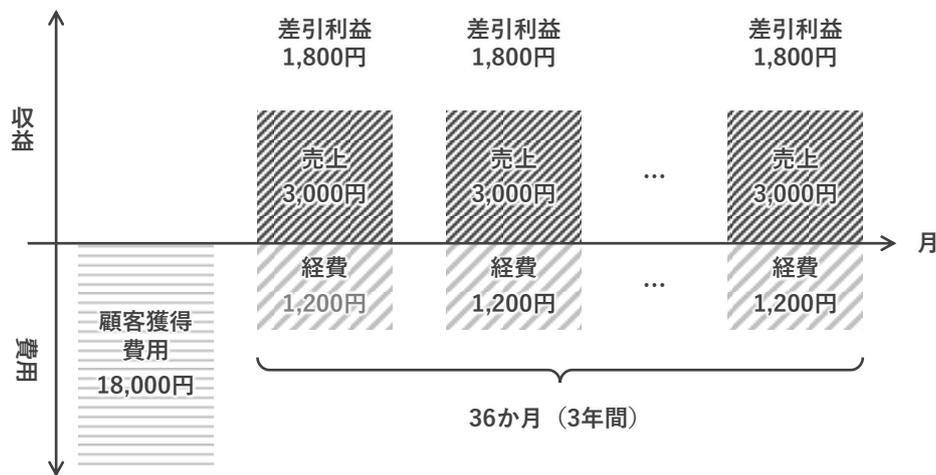
第1章の説明と図1.1に従って、サブスクビジネスに関連する項目を4種類に分類してみましょう。

- ・初期費用：なし
- ・定額課金の収益：3,000円（月額）
- ・従量課金の収益：なし
- ・顧客獲得費用（CAC）：18,000円

定額課金分の収益は月に3,000円が見込めます。これは定額課金です。このサブスクビジネスの設計において、従量課金は設定していないようです。

また、この演習問題においては「経費」を考慮する必要があります。経費は収益の40%ですから $3,000円 \times 40\% = 1,200円$ です。したがって、毎月の利益は $3,000円 - 1,200円 = 1,800円$ となります。3年間の月次利益の合計は $1,800円 \times 36ヶ月 = 64,800円$ です。この金額から、X社を自社の顧客として獲得するための顧客獲得費用の18,000円をマイナスした46,800円が利益の累計額となります。

なお、この練習問題のような長期にわたる計算を行う場合には、厳密には貨幣の時間価値を考慮する必要があります。しかし、この問題では考えないものとしています。これは練習問題4と5も同じです。



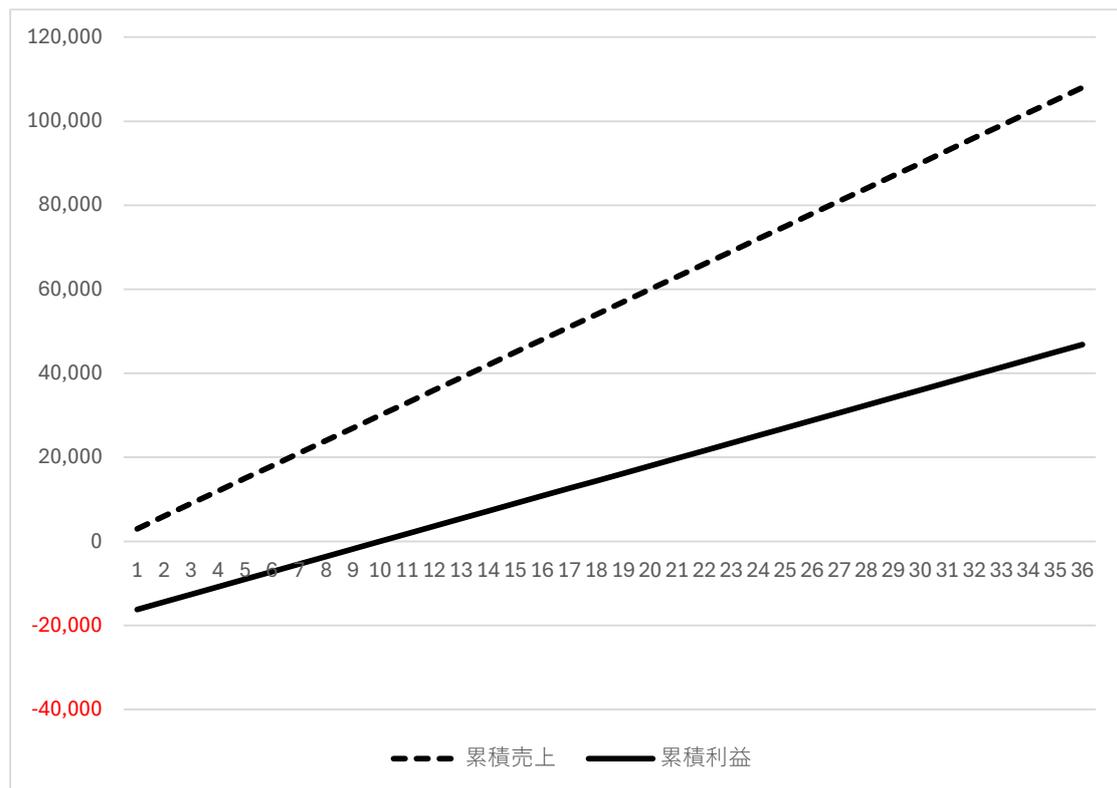
また、エクセルのシートおよびグラフを用いて、36か月間の収益と利益の推移を示しました。こちらも参考にしてください。

【参考】36 か月間の収益と利益の推移

月数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
累積売上	3,000	6,000	9,000	12,000	15,000	18,000	21,000	24,000	27,000	30,000	33,000	36,000
累積費用	1,200	2,400	3,600	4,800	6,000	7,200	8,400	9,600	10,800	12,000	13,200	14,400
初期費用	18,000											
累積利益	-16,200	-14,400	-12,600	-10,800	-9,000	-7,200	-5,400	-3,600	-1,800	0	1,800	3,600

月数	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
累積売上	39,000	42,000	45,000	48,000	51,000	54,000	57,000	60,000	63,000	66,000	69,000	72,000
累積費用	15,600	16,800	18,000	19,200	20,400	21,600	22,800	24,000	25,200	26,400	27,600	28,800
初期費用												
累積利益	5,400	7,200	9,000	10,800	12,600	14,400	16,200	18,000	19,800	21,600	23,400	25,200

月数	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
累積売上	75,000	78,000	81,000	84,000	87,000	90,000	93,000	96,000	99,000	102,000	105,000	108,000
累積費用	30,000	31,200	32,400	33,600	34,800	36,000	37,200	38,400	39,600	40,800	42,000	43,200
初期費用												
累積利益	27,000	28,800	30,600	32,400	34,200	36,000	37,800	39,600	41,400	43,200	45,000	46,800



Q1-4 解答・解説

10 か月

$(3,000 \text{ 円} - 3,000 \text{ 円} \times 40\%) \times X \text{ ヶ月} - 18,000 \text{ 円} = 0 \text{ 円}$ となる X を求めればよいです。 $X=10$ なので 10 ヶ月となります。練習問題 3 のエクセルのシートも参考にしてください。10 か月を経過した時点で、累積利益がゼロになっていることが分かります。

Q1-5 解答・解説

その商品に対する需要が低下している場合には、定期収益の比率が高い方が、利益の低下には時間がかかることとなります。言い方を変えると、需要の低下に対処するだけの時間を稼ぐことができます。